

家庭科作品 正方形をステキに変身

年組	番号	コメント
5年1組	1	私は派手なティッシュケースを作りました。ティッシュケースのはじについているひもをつけるところが大変で、ミシンと手ぬいのそれぞれいいところがわかりました。班の友達の協力があつたので、遅れず作れました。
5年1組	2	私はお弁当巾着を作りました。初めてミシンを使うときはきれいに縫うことができませんでしたが、何回かやっていくうちにきれいに縫えるようになりミシンがとても楽しくなりました。作品を作るとなると大変そうだなと思っていたけど、友達が協力してくれたおかげで思ったより簡単に作ることができました。
5年1組	3	私はティッシュケースを作りました。最初はミシンの使い方があまりわからなかったので間違えて縫ってしまったけど、先生に教わって完成しました。アイロンを使ったのは初めてではないけど少し不安がありました。ですが、友達がやり方を教えてくれたので、アイロンもきれいにできました。
5年1組	4	私は、家庭内で使える爽やかなティッシュケースを作りました。布の色(二枚)と糸の色が重なり合う感じで、あまり糸の色が目立たないようにしました。 大変だったところは、一枚の布をアイロンで伸ばしたりうら返しにしたりする、初めの工程のところ。もう一つは、ミシンで布を縫い付けるときに、まっすぐに縫えるようにおさえながら一角一角をしんけんに縫っているときでした。 そして、私はミシンセットの仕方があまり良くできなくて、困ったときに班の友達がミシンのセットの仕方を教えてくれました。お互いわからないことがあつたときは手伝い合ったり、教え合ったりして協力し合いました。そういう、班の人と協力して出来上がった作品だと思いました。
5年1組	5	ぼくは、家でも使えるティッシュケースを作りました。大変だったことは、ミシンでまっすぐにぬうことです。ななめになってしまうから最初は難しかったです。だんだんなれてきたけど、きれいにはできなくてすこし悔しかったです。最初の糸をミシンに取り付けるところができなかったので、次はできるようにしたいです。
5年1組	6	私は、ピンク色のウォールポケットを作りました。布を同じ大きさに切ったり、ミシンで布と布を縫い付けたり、作業が多くてとても大変でした。 特に難しかったのは2つあります。1つ目は、布を同じ大きさに切るところです 縦40センチ横40センチに切る正方形を、2枚も同じ形に切るとはとても難しかったです。失敗してしまうかと思いました。 2つ目は、取手を付けるところです。ミシンで縫うと少し糸がからまったり、ごちゃごちゃした感じになったりすごく大変でした。それでもみんなで作った作品はうまくできました
5年1組	7	私はティッシュボックスケースを作りました。作品を作るのは大変ですが、今回は布から作るのより大変でした。今回の学習で初めてミシンの作品を作りました。ミシンは針がこわかったけど、今回ミシンを使って楽しいなと思えるようになりました。ミシンのセットがうまく出来なかったときには、先生や友達が手伝ってくれました。布を裁ちばさみで切るときに切りすぎてしまい、大きさが足りないかなと心配でした。小さいティッシュしか入らなくなりましたが、ティッシュは入るようになりました。付けるはずのボタンが無くなったりして、トラブルが多かったです。でも、頑張ろうと思えて、たくさん進められました。展覧会が終わったらはやく家で使ってみたいです。
5年1組	8	私はウォールポケットを作りました。大変だったことは、ミシンで縫うときにずれないようにしんちょうにやったことです。返し縫いでは糸が何度もからまってしまい、先生にアドバイスやサポートをもらい、ウォールポケットを作ることができました。
5年1組	9	生活の中で便利に使えるティッシュケースを作りました。作品を作る前はうまく作れるかな？失敗したらどうしようと思いました。いざ作り始めるとそんなことは忘れてしまい、逆に完成したのを早く見たいなと思いました。布の柄は大好きなsnoopyと無地のはぎれを使って作りました。どちらの生地もはぎれにし、糸の色も白にして統一しました。はぎれの色は白

		ぼい感じの色だったので糸の色も白にしました。手で縫うときに布が厚くて縫いにくかったので色々工夫して簡単に縫うことができました。ボタンを最後に付けるときにボタンの付け方を忘れてしまって、友達や先生に聞いてみたら簡単にボタンをつけられました。手縫いで作る作品だったので、針が指に少しささって痛かったけど、無事大けがなどにはならず作品作りを終えることができ良かったです。今回の作品は手縫いだけで作ったけど、次に作品を作るときはミシンを使って作品を作りたいです。
5年1組	10	私はミニ手提げバックを作りました。チャコペンで書いたところにぴったりミシンでぬうのは、意外に難しかったです。アイロンでシワを伸ばすことは、最初はこわかったけれど、慣れていくうちにうまくできるようになって良かったです。わからなかったり難しかったりしたら友達と教え合い、協力して出来てよかったです。
5年1組	11	僕は、作品を作っているときに、友達が声をかけてくれて色々教えてくれたのが嬉しかったです。僕はポシェットを作っていたのですが、ひもをつけるときに何回か折っていたため、布が分厚くなってぬうのが大変でした。
5年1組	13	僕は、きんちゃく袋を作りました。作るのに大変だったのは、縫うところです。結構縫うところが多いので大変でした。折り紙のように折って縫うところが多いので、とても大変でした。紐を通すのも大変でした。友達の力も借りて作ることができました。
5年1組	14	僕はウォールポケットを作りました。大変だったことは縫うところです。縫うときにズれてしまい、手でおさえながら調整したところです。工夫したところは、かべに付けるひもをミシンで作って取り付けたことです。ポケットのところを縫うときに、友達が一緒に手伝ってくれて嬉しかったです。
5年1組	15	私は、ポシェットを作りました。難しかったところはミシンで布を縫う時です。返し縫いが分からなかったり、縫ってもすぐに解けてしまったりして、とても苦戦しました。ですが、友達のやり方をお手本にするなどして、完成することができました。今ではとても思い入れ深い思い出の作品になりました。
5年1組	16	私はリボン付きの巾着袋を作りました。難しかったところはミシンでどこをぬうのか迷ったところです。時間がかかってしまいました。だけど、先生や友達がアドバイスしてくれたので嬉しかったです。
5年1組	17	僕は携帯や細いものなどがしまえるウォールポケットを作りました。大変だったことは、ミシンで縫うことです。まず縫う前にミシンをセットするのが大変でした。でも先生が教えてくれたので嬉しかったです。次に大変だったことは縫う位置です。縫う位置がよくわからなくて、ポケットの大きさが小さくなってどうしようかと思いました。その時携帯とか細いものならしまえるかと思い、携帯や細いものなどがしまえるウォールポケットにしました。最初はどうなるかと思ったけど完成できてよかったです。
5年1組	18	僕は外側にポケットが付いている巾着袋を作りました。作るときに大変だったことは、糸を入れることと、ミシンで縫うことです。糸を入れることでは、糸の入れ方がまずわからなくて、でも友達が教えてくれたから糸が入れられていい作品になりました。ミシンで縫うときは、はじめは直線に縫えなかったけど、だんだん慣れてきて直線に縫うことができ、嬉しかったです。作品を作るときは先生に聞きながら作ったからいい作品になって良かったです。
5年1組	19	僕は昆虫が描かれている布でティッシュケースを作りました。作るときに分からないことがあって困っていたら、先生や友達がサポートしてくれてすごくいい作品ができました。最初はミシンの使い方がぜんぜん分からなかったけど、となりの友達と一緒にやってくれて使い方がわかってきました。友達と協力して作品が作れたのが嬉しかったです。
5年1組	20	私は、色々入るひもの巾着袋を作りました。表と裏が少しずれていたのでも、真っ直ぐに縫いました。大変だったところは、きれいに縫ったことです。中は余裕で物が入るけど、外のポケットはギリギリですが物が入りそうで良かったです。意外と上手にできました。
5年1組	21	私は巾着袋を作りました。ミシンで縫うときに真っ直ぐに縫うことが難しくて、ずれてしまいました。だけど、先生や友達が励ましてくれて、嬉しかったです。同じ班の友達が縫い方がわからなそうだったので、こうするんだよ、と少しやってあげた事があるので、アドバイスをすることもされることも大切だということ学びました。
5年1組	22	僕は、ポシェットを作りました。大変だったことはミシンで縫うことです。ミシンで縫うときにまっすぐに縫うのが大変で、ずれてしまいました。その時に先生が教えてくれて嬉しかった

		です。
5年1組	23	僕は、ランチマットを作りました。大変だったことは、できる限り、はしっこギリギリをぬうことです。まあまあうまくできました。初めてのミシンだったので、少し難しかったけど楽しかったです。
5年1組	25	わたしはペットボトルケースを作りました。大変だったことはペットボトルを巻く紐の長さの調整です。短すぎると巻けないし、長すぎると巻いた時に紐が余るからです。お母さんのために作ったのですが、お母さんの持ち物の大きさに合わせるために、大きく作るようにしました。
5年1組	26	僕は小物を入れられる巾着袋を作りました。難しかったところは直線で縫うところです。だけど友達とやっていくうちに、慣れてきれいに直線に縫うことができました。1回縫うところを間違えたけどリッパーで取りました。2回めはきれいに縫うことができました。
5年1組	27	僕は、ティッシュボックスカバーを作りました。難しかったところは、37cmの正方形の縫い方です。特に、横幅10cm開けてかがり縫いをするところと、中表に2枚の布を合わせて、ミシンを縫うところが難しかったです。これからも自分の家でミシンを使った作品を作りたいです。
5年1組	28	僕は肩掛け巾着袋を作りました。特に難しいところはありませんでしたが、表と裏を間違えて、リッパーで糸を取ったことがありました。家にミシンがあるので、紐と布を買って他の作品も作りたいと思いました。作品を作る時に他の作品を作っている友達を手伝いました。
5年1組	29	僕はウォールポケットを作りました。途中までは上手くいってましたが、最後の最後で、上の部分が縫えてなく穴が空いてしまいました。ですが、先生が手伝ってくれて何とか制作できました。ウォールポケットの中には家族みんなのスマホなどを入れてみたいです。次はもっと大きい物を作りたいです。
5年1組	30	私は、ティッシュボックスカバーを作りました。難しかったのは、ボタン付けです。裏面にボタンを付けるときに、ボタンの付ける位置を間違えてしまいました。けれど、友達がアドバイスをくれて、ボタンをつけられました。友達が作り方で困っていたときに、友達に教えることもできました。
5年1組	31	私の作品は最後に布がとて多くかさばるところを縫わなければいけませんでしたが、思い切ってミシンで縫おうとすると、ミシンが分厚い布を縫えなくて、「ブー」とみんながこちらを振り向くほどの大きい音が鳴ってしまい、うまく縫えませんでした。それに気付いた先生から「布が多くかさばるところは、手動ではずみ車を動かすとミシンで縫うときよりもゆっくりになってしまうけれど、スムーズに縫えるよ」と教えてもらいました。私の作品の布が多くかさばるところを見てみてください。
5年1組	32	私は、小物を入れて持ち運べるきんちゃく袋を作りました。難しかったこと、大変だったことは、ミシンをずれないで縫うことです。真っ直ぐ縫えたか心配だったけど、意外ときれいに縫えました。また、ひもを付けるのが難しかったです。ひもを通してややこしくなったけど、最後はちゃんと完成できたから良かったです。
5年1組	33	僕のミニ手提げバックは、布が分厚く、針を通すのが大変でした。ぼくのペアの友達は、僕と同じ作品を作るので、わからないところはお互いに聞き合い、完成させました。そして僕は早めに終わったので他の班の子や、同じ班の子を手伝いました。最高の作品ができました。
5年1組	34	私は、ティッシュボックスケースを作りました。難しかったところは、ミシンを真っすぐにぬうところです。途中で、友達が手伝ってくれて、まあまあよくできました。実際に使ってみたくと思います。
5年1組	35	僕は色々なサイズのものを入れられる巻き型の小物入れを作りました。工夫したところは、色々なサイズの物が入るように、測って縫ったところです。途中で紐を作るときに、付けた紐が短すぎたということがわかったときはどうしようかと思ったけど、大きいものを作ればいだけだったので大したことでなくてよかったです。
5年1組	36	きんちゃく袋を作りました。携帯電話などを入れて使いたいです。友達に手伝ってもらって、うまくできました。3つのポケットがあるところがポイントです。さっそく使いたくて、1回家に

		持って帰りました。
5年1組	37	僕は、ティッシュボックスケースを作りました。特に難しいところは、ミシンで縫う時に布が分厚くて縫いにくかったところと、2センチ測って布を折るところです。ですが、友達が手伝ってくれて、いろんなことを工夫して、個人的にはいいものができました。できたときの達成感もありました。
5年1組	39	作ろうとしたものが思いどおりにできなかったので、作戦を変更して、簡単なランチョンマットにしました。ミシンでまっすぐぬうことは、よくできました。アドバイスをすることもできました。
5年1組	40	布で作品を作る授業で、布の小さなバッグを作りました。これらは一見簡単そうに見えますが、実行する際には注意すべき点がたくさんあります。最初の工程は、2枚の布を縫い合わせて裏返すだけの簡単な作業に思えますが、自分でやってみると思ったほどなめらかではありませんでした。ミシンの強度がつかみにくく、生地を乗せるときはまっすぐにしないと曲がってはしようもありません。何事にも心を込めて取り組めば、必ず成功し、達成感が得られます。